

6 番	新井 亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1 小中一貫校について</p> <p>【質問趣旨】 2016年5月に5小学校への説明会が開催されると同時に始まった小中一貫校と一貫教育の計画です。</p> <p>小学校5校(古瀬戸・東明・祖母懐・深川・道泉)と、中学校2校(祖東・本山)の全部で7校もの統廃合は全国的にも稀なケースです。</p> <p>この計画に戸惑い「地域の中に学校を残してほしい」と計画の見直しを求める請願署名は市民の1割を超える13000筆も寄せられました。</p> <p>ところが校舎の建設工事、校名の募集、制服の選定など、</p>	<p>(1) 子どもたちの教育を受ける権利の保障について</p>	<p>① 今回にじの丘学園に統廃合される5小学校2中学校の中の1校である本山中学校では、下記のように2018年度から急激に生徒数が減少しています。</p> <p>2014年度 139名 (3570) 2015年度 108名 (3467) 2016年度 103名 (3492) 2017年度 92名 (3419) 2018年度 61名 (3398) 2019年度 18名</p> <p>※()内は瀬戸市立中学校の全生徒数</p> <p>この理由と見解について伺います。</p> <p>② 突然計画発表された遠い学校への「通学が困難である」「不安である」「通学の安全確保が困難」「交通費がかかるかもしれない」「どんな学校なのか」など様々な不安が残されたまま、多くの家庭が「学区内にある本山中学校ではなく別の学校へ行く」という選択をしました。子どもたちの教育を受ける権利を保障する観点からも「にじの丘学園へ行かなくてもよい」選択肢を残すべきと考えますが、見解を伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

6 番	新井 亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>着々と進み、瀬戸市の掲げる理想とは対照的に、子どもや保護者は大きくかけ離れたところに今も置き去りのままであることを目の当たりにしています。</p> <p>子どもたちの声にならない声にも寄り添い、安心して教育が受けられる環境が整えられることを切に願って質問します。</p>	<p>(2) 強引な統廃合で学校が遠くなることにより起こり得る通学の負担について</p>	<p>① 「通学」は教育の中にどのように位置づけられているのか。またその際に最重視すべきことは、何であるのかも併せて見解を伺います。</p> <p>② にじの丘学園の開校予定は2020年4月です。各地域からどのルート(通学路)で、どのように(通学手段)通学するのかまだ決まっていません。子どもも保護者も大きな不安を抱えたまま、にじの丘学園へ通わせて良いものか判断できず困っている家庭も存在しています。いつになったら安全に安心して学校に通える通学路と通学手段が決定するのかをうかがいます。</p> <p>③ 瀬戸市通学路安全対策協議会による「小中一貫校に伴う瀬戸市通学路交通安全プログラム」が制定されていますが、この計画の実施状況について具体的に伺います。</p> <p>④ 登下校に片道1時間近く、場合によっては1時間以上の時間をかけて歩くことになる地域もあります。道中で気分が悪くなる、トイレに行きたくなる、子どもたちだけで判断できない出来事も起こります。これまでのような自分たちの生活している地域の中を歩いていた安心感はなくなり、子どもたちは緊張感を持って生活圏ではない地域を歩いていくこととなります。小学校高学年は、今まで以上の責任感を背負わされることとなります。子どもたちの精神的な負担が大きくなることに対してどう考えるか見解を伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

6 番	新井 亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(3) 徒歩通学が困難な場合は路線バスにした経緯と問題点	<p>⑤ 特別支援学級の中には集団登校ができない子どもたちもいます。通学は、個別案件として学校と保護者で話し合いをすることになっていると聞いています。これまで地域の中の学校だからこそ「保護者が徒歩で登下校の付き添いをする」「車で送迎をする」など対応できていたことも、遠く離れた学校になることで登下校の支援が困難になる家庭もあります。場合によっては、「にじの丘学園ではない学校へ転校せざるを得ない」と考えている家庭もあります。「特別扱い」ではなく「特別な支援が必要」な子どもたちが、通学においてより困難になる状況についてどう考えるか見解をうかがいます。</p> <p>⑥ 現在は、地域の見守りボランティアの協力により地域の中を安全に安心して歩き登下校できているのが実情です。生活圏ではない地域をいくつも通り抜けながら登下校する際の子どもたちの異変に気づき、子どもたちを見守る体制はどう考えているのか伺います。</p> <p>①小中一貫校の計画が保護者に発表された当初は「無料のスクールバスを運行する」と、多くの保護者が説明をうけたと聞いています。これは事実かどうか伺います。</p> <p>②中項目 2 でも確認しましたように「通学路や通学時の安全確保は最優先課題」と考えますが、「基本的に児童・生徒・学校関係者以外は利用しないスクールバス」ではなく、「不特定多数の乗客が利用する路線バス」にした理由を伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

6 番	新井 亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(4) 安全に登下校できる環境を保障するためにスクールバスの導入を	<p>③「直線距離 1.5Kmの目安」がなくなり、どの地域からも路線バスが利用できるようになりました。バスで通学するのか、徒歩で通学するのか、これは各家庭に判断を委ねるといふ解釈で良いかがいます。また、これまでの通学班が、同じ地域の中でバス通学班と徒歩通学班とに分かれ教育の条件に差が生じる可能性も考えられます。このような事態をどう受け止めるのか見解をうかがいます。</p> <p>④朝バス停からその日に乗車する予定の子どもの把握は誰が行なうのか。全員無事に乗車でき、降車するバス停で全員無事に降車できたかの確認は誰が行なうのか。一般の方も利用する路線バスの車内で起こり得るトラブルについての対応は誰が行うのか。車内での体調不良時の対処は誰が行なうのかを細かく伺います。</p> <p>⑤学校行事、短縮授業、登下校中の災害、小中学校、学年によって様々な時間で下校することになり場合によっては臨時ダイヤなど増発が必要かと思ひます。常にバス会社との細やかな打ち合わせや対応が必要となりますが、名鉄バスとこれらについて具体的に協議しているかどうかを伺ひます。</p> <p>① 子どもたちが安心して安全に登下校できる環境を整えるためには、スクールバスの導入を検討すべきだと考えますが、保護者の願ひを丁寧にきく機会を設けてきたのか伺ひます。</p> <p>② 厚生文教委員会が昨年視察したと聞ひている大阪府池田市のほそごう学園では、計画段階で路線バスではなく無料のスクールバスに変更されました。瀬戸市においても地域の実情や保護者の願ひに丁寧に寄り添ひ、路線バスではなくスクール</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

6 番	新井 亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(5) 小中一貫校整備予算について	<p>バスの運行が最善と考えますが、見解を伺います。</p> <p>① 今年度の小中一貫校整備予算の中にバス 4 台 4000 万円が計上され議会でも可決されています。これはスクールバスを購入するための予算と考えますが、執行されるのか伺います。</p> <p>② 万が一バスを購入しなかった場合、この 4000 万円の予算はどうなるか伺います。</p> <p>③ この統廃合される地域はあまりにも広すぎて、それぞれの地域毎に条件が違い課題はさまざまです。にじの丘学園に通う子どもたちが受ける教育に、地域格差が生じないようにするのが行政の努めであると考えます。子どもたちや保護者の願いに真に寄り添い、必要な地域への無料のスクールバスの運行実施に向けてスクールバスの購入をすべきと考えますが、見解を伺います。</p> <p>④ にじの丘学園では全ての図書を新しく買いかえるとききましたが、その理由とそのため経費をうかがいます。またこれまで使用していた図書はどのような扱いになるのか伺います。</p> <p>⑤ 机・椅子も新しく買いかえるとききましたが、その理由とそのため経費をうかがいます。またこれまで使用していた椅子・机はどのような扱いになるのか伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。